

---

# ZERO

病蜘蛛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ZERO

### 【Zコード】

N4264H

### 【作者名】

病蜘蛛

### 【あらすじ】

消せという封筒が主人公姫川桜、広瀬迅、大和信士に届く、誰から送られてきたかわからない依頼を実行。次第に3人はその封筒に疑問を感じ・・・

## 〇〇（前書き）

過激な表現があるので、心臓の弱い方、苦手な方は、引き返してください。

私は、じく普通の女子高生。

もしどこかで、私が殺人を犯したならば、知り合い達は口を揃えて  
言つだらう。『どうして、あんなに大人しかった子が…』って…

ZERO · 00

「…そんなわけないじゃん」

携帯をいじりながら女の子こと、姫川桜は歩いていた。  
桜は足を止め、高層マンションの中に入つていった…。

エレベータで最上階まで上がり、桜は部屋に入つていった。  
部屋の中は、生活観はまったくなく、ただ桜はこの部屋にいるだけ  
といったかんじである。

テーブルにソファーテレビといった簡単なものがあるだけ、そのテ  
ーブルの上には真っ黒な封筒があいてあつた。

「…あらら」

桜は呆れたような表情を浮かべ、その封筒を手に取つた。

封筒の中身は、簡単なものだった。

” 加藤 詠作ヲ消せ ”

「んー消せかあ・・・名前を? 存在を?」

桜は、悩んでいるとインターフォンが鳴った。

「遅かつたね・・・この私が悩んでいたのに」  
桜は玄関を開け、外にいた男2人に言った。

「お前はなんだ、女王様か！？」

「ああ？と桜にガンを飛ばしながら、言つ不良少年は・・・広瀬迅ヒロセジン

「そうよ！！なにが悪い！！」

桜は腰に手を当て迅に言った。

「まあまあ、落ち着いてください。桜さん、迅の学校が終わるのが遅くなってしまい、こちらに向かうのも遅くなってしまったわけです。」

桜と迅の仲裁に入った、メガネをかけた少年は・・・大和信士ヤマトシンジ

「まあ・・・信士が言うなら・・・」

桜は、一人を家の中に入れた。

4

「今日、来ていたのは・・・加藤詠作というヤツを消せということよ」

桜は、一人に封筒を渡した。

「これは、殺せということですか？」

信士は封筒を見ながら、桜に聞いた。

「そういうことなんじゃねーの？」

迅のほうはやる気満々といつたところだ。

桜は悩みながらも「そういうことでしょうね・・・」と歯切れが悪く言った。

それから、三人は作戦を話し合い、日付が変わった午前2時・・・

「じゃーいきますか」

三人は闇の中に消えていった・・・

読んでいただきありがとうございました。

コメントや感想をいただけたら嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4264h/>

---

ZERO

2010年10月19日10時00分発行